

楽しく学ぼう、ふるさと亀岡とわたしたちの暮らし

～ふるさとLovers2020 自然と文化の体験フェスタ～



2月1日、ガレリアかめおかで「ふるさとLovers 2020 自然と文化の体験フェスタ」が開催されました。ふるさと亀岡にまつわる展示や体験を通じ、郷土愛を深めてもらおうというイベントで、今回で2回目の開催となりました。



会場では、家庭にある不要なエコバッグを必要としている人に譲る「エコバッグシェア運動」をはじめ、西別院小学校の子どもの手作り



第四百九回 明智光秀

文化財めぐり ⑫

明智光秀と神前北山城

「神前北山城」と聞いて、どの城？と思った人もいるかと思いますが。神前北山城とは、実は八木城の別名です。

八木城は、南丹市の八木町域内にあると思われがちですが、実は本丸や主要縄張りの南西側半分は亀岡市域に入っています。神前北山城は、亀岡市側から八木城を示す場合に使われてきた名称です(以下、八木城で統一)。

八木城は、周知のとおり、丹波国守護代内藤氏の拠点として知られています。使用時期については諸説ありますが、内藤宗勝の時期から居城として整備・拡張され、内藤ジョアン(貞弘)の時代に、あの斎藤道三の稲葉山城と同じように、山頂に居住

スペースが築かれたものと推測されます。

明智光秀は、天正3(1575)年7月頃、八木城を攻めて内藤ジョアンを敗走させます。しかしこれで八木城は廃城となったわけではなく、その後、光秀は山内衆(京丹波町の領主)に対して材木を八木城麓へ運ぶよう指示するなど、八木城を自らの拠点として使用しました。

光秀は交通の要衝にあった八木城を無視できず、石垣を据えるなどして再整備をしたと考えられます。

【史料】年末詳3月7日付山内衆宛明智光秀書状



亀岡市議会 議長と副議長が決定



2月12日、令和元年亀岡市議会定例会令和2年2月特別議会が開かれ、議長を引き続き齊藤一義議員(新清流会)が務められることとなり、第55代副議長に奥野正三議員(新清流会)が新たに選出されました。

任期は、申し合わせにより議長・副議長共に1年です(ただし議長は2年を限度として再任を妨げない)。

齊藤議長は、平成23年に初当選されて以来、現在3期目。これまでに市議会副議長や議会運営委員会委員長などを歴任されています。

奥野副議長は、平成27年に初当選されて以来、現在2期目。これまでに、総務文教常任委員会委員長などを歴任されています。



ますます亀岡が元気に！ふるさと納税 10億5,000万円突破！

亀岡市は、ふるさと納税制度を通じた財源確保と市のPRによる地域活性化を目指しており、令和元年度の寄附額は過去最高となる2万4,000件、10億5,000万円を超える額に達しました(令和2年2月17日現在)。

市では寄附金の使途として6つの事業を設定。その中から寄附者が好きな事業を選択できるようなっており、まちづくりのさまざまな分野で役立てられています。

好調に推移している要因として、豊富なラインナップが魅力の返礼品が挙げられます。人気No.1の亀岡産野菜セットをはじめ、亀岡牛や京野菜を使用したおせち料理など幅広く取りそろえ、これら良質な特産品が高額にのぼる寄附を支えています。

また、市民の皆さんがふるさと納税を通じ、市を応援する取り組みとして自治会学校指定寄附「ふるさと亀岡自治活動応援交付金」「京都亀岡学校応援事業」や、「石田梅岩を顕彰し、生誕地を整備する事業」があります。

さらに、今年度から歴史文化遺産指定寄附として「ふるさと亀岡の歴史文化遺産を守



る支援事業」を設置。縁が深い地域や学校、文化財保護を支援する制度としてぜひご活用ください。

亀岡市では同制度を通じ、さまざまな本市の魅力を全国に向けて発信してまいりますので、ぜひ皆さんもご協力をお願いいたします。

※返礼品は市外の寄附者のみ送付対象です。